

社会福祉法人東御市社会福祉協議会 第 5 期地域福祉活動計画の策定について

◆ 第 5 期地域福祉活動計画の理念

東御市地域福祉計画（以下、地域福祉計画）の理念を受けて検討します。東御市社会福祉協議会（以下、東御市社協）と行政・市民・団体・事業所が共に取り組む「全世代の人びとの思いがかなう暮らしづくり」を目指し「わかりやすい・親しみやすい・明るく楽しい」などをキーワードに設定します。

◆ 目指す方向性

第 1 期～第 4 期の東御市地域福祉活動計画（以下、活動計画）で取り組んできた地域福祉活動を総括する内容にします。また、東御市社協の役割を明確にします。

1. 小学校区・行政区・各団体やグループが取り組む地域づくり・暮らしづくりを支援する・つなげる
2. 行政・市民と取り組む全世代型の包括的な支援体制の整理役・つなぎ役・調整役を担う
3. 地域の社会課題の解決に、行政・市民と共に取り組むネットワークや仕組みを作る

* 1. 2. 3. を主な方向性に定め、地域福祉計画の該当箇所に落とし込む予定です。

◆ 策定にあたっての基礎資料と策定方法

<基礎資料> …①・②は別添

- ① 2023 年 3 月実施「持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会」ワークショップ意見
- ② 2024 年 2 月実施「東御市地域福祉懇談会」ワークショップ意見
- ③ 2024 年夏実施「東御市社会福祉協議会についてのアンケート」結果

☞ ①～③の資料を元に、社協内に策定委員会を設置し、地域福祉計画の策定の過程に合わせて進めます。

☞ 東御市社協では、活動計画と同時に社協の中長期の総合計画を策定します。総合計画策定にあたり、アンケートを実施し、結果を活動計画に活用します。

◆ 策定過程 * 同時進行で、東御市社協の「総合計画」を策定します。

	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
策定作業	課題分析 従来の活動と 資源を整理 ① ②を整理	骨子案作成	骨子案完成 ↓ 第 2 回策定委 員会に提案	策定委員会意 見と内部委員 会で内容検討	社協アンケ ート調査結果を 踏まえ、内容 検討
社協 アンケート 調査	調査票作成・ 分析方法検討	配布	回収	集計・分析	結果を計画に 反映
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
策定作業	素案完成 ↓ 第 3 回策定委 員会に提案	第 3 回策定委 員会意見反映 ↓ 全員協議会に 提出	全員協議会意 見反映 ↓ 内部委員会で 再検討	パブリックコ メント・策定 委員会意見反 映 ↓ 最終案作成	完成

① 2023 年 3 月実施「持続可能な地域づくり・暮らしづくり講演会」 ワークショップ

○実施日：2023 年 3 月 25 日 13:00 ○場所：東御市中央公民館 ○主催：東御市、○共催：東御市社協
○参加者：64 人（地域づくり協議会・地域づくりサポーター・地域づくり支援員・区長会・民生児童委員・福祉課と社協職

<当日の流れ>

○地域づくり、社会福祉の現状について（市・社協から説明）

○ワークショップ

「皆さんの身の回りで『困っていること（課題）』『気になること（きがかりなこと）』を教えてください」

⇒各自、付箋に書き出した後、誰が困るのか・何時困るのかまとめる

○講演 「あんしんの未来の地域づくり」 信州大学 井上信宏教授

困りごと、きがかりなこと（489 項目を分類）

1 空き家、耕作放棄地について

- ・ 空き家が増え、無管理の状態。災害時や老朽化による倒壊の危険性
- ・ 耕作放棄地の荒廃の進行
- ・ 農業の後継者不足

2 担い手不足、負担の増加

- ・ 区役員、協議会、行事、草刈り作業などのなり手不足、人手不足
- ・ 同一人物による複数年に及ぶ負担増加
- ・ 行政から様々な依頼が多すぎる
- ・ 消防団員のなり手不足

3 少子化、子育て、高齢化、人口減少

- ・ 子どもたちの安全な遊び場が少ない
- ・ 通学路の安全確保や通学手段、方法が心配
- ・ 少子高齢化の進行
- ・ 若い世代の流出



4 高齢化、高齢者、生活全般

- ・ 生活費や入居費、物価高など経済的な心配。年金だけの生活では不安、無理
- ・ 独居者の増加と孤立
- ・ 高齢化による免許返納後の移動手段。買い物が不便
- ・ 自身の健康、老後の生活
- ・ 近所づきあいの疎遠化。外国人居住者との関係が希薄
- ・ 災害時の支援や救助に不安

5 その他

- ・ 親の介護の心配
- ・ 引きこもり、不登校、障がい者へのサポート体制の充実
- ・ デジタル化、IT 化についていけない

2024 年 2 月開催 東御市地域福祉懇談会のワークショップの振り返り

P2 … ワークショップの内容・進め方

◆ 開催日・場所

ページ	開催日 (2月)	地区・場所	参加 人数	当日のようす	
3P	16 日	滋野地区 (滋野コミュニティーセンター)	34 人		
5P	19 日	祢津地区 (東御市総合福祉センター)	29 人		
7P	21 日	和地区 (和コミュニティーセンター)	43 人		
9P	26 日	北御牧地区 (北御牧公民館)	38 人		
11P	27 日	田中地区 (中央公民館)	41 人		

ワークショップの内容・進め方

ワークショップの目的

- ① 参加者全員で、東御市の／()地区が、「これからも無理なく地域が続いていく
地域福祉のとりくみ方や地域づくり」を考える。
- ② 成果は、2024 年度に策定する東御市地域福祉計画・東御市地域福祉活動計画の
基礎資料のひとつとして活用します。

①

過去 150 年間の東御市の暮らしを地図にまとめる
⇒東御市全体、小学校区、行政区など、思い思いに地図を描いてもらいました

②

150 年前の東御市をイメージしてもらいました
「丸山晚霞の絵」「おばあちゃんたちの昔話」「東御市の 150 年間の歴史」

③

「岩手県矢巾町」や「信州大学の井上先生」の動画をみて未来人になる準備をしました

**「光るバンド」をつけて、今の年齢・仕事・身分のまま
「未来の人」になりきってもらいました**

④

50～150 年先の 2174(令和 156)年の子孫の世代のことを考えて
未来にも残しておいてほしいもの、今取り組みたいこと、手放したいことを
話し合いました

どうして未来の人になって考えるの？

○未来の人になりきって考えることは、「フューチャー・デザイン」といいます。

○わたしたち、現代世代が、将来の世代のために持続可能な
社会を考え、その実現に向けた第一歩を踏み出すことです。

○わたしたちが直面している「持続可能性」が問われる課題解決には、
わたしたちが慣れ親しんでいる社会の仕組みを根本から見直す必要があるそうです。

○「フューチャー・デザイン」は、私たち現代世代の判断や選択が短期的な利益に
偏りがちであることに対して、うまれたそうです。

- ☆ 孫やひ孫の世代に対して、「ツケ」の先送りを今すぐ止める
- ☆ 未来の人になって、「感謝」と「リクエスト」を現代に向かって伝える

東御市滋野地区 2024 年 2 月 16 日実施 地域福祉懇談会ワークショップ意見

◎150 年後の 2174 年の東御に住んでいる人になりきって、①～⑯のテーマについて、ひ孫や玄孫に、残したいもの、その時代もあってほしいもの、手放したいもの、変わってほしいものは何か考えてください。

① 自分がほっとできる時間や場所は？ 自然

② おとなりや近所と話をしますか？

バーチャルに話をする、今の反省を生かしもっとコミュニケーションを増やす、近所の人がいれば話す、テレビ電話、AI を使ってふれあい、話さない・挨拶程度

③ 区の組織や区の役員は？

区がない大きな枠組みなる・東御区、個人の考えが AI を使い市政に反映される仕組み、組織は必要なので残っている、合理化が進み雑務なし、一斉連絡システムで役員はいらない

④ 小学校・中学校はどうなっていますか？

残っている（教育は大切）、社会性を育てるために残す、小学校・中学校が 1 校に集約、ネットが主になり学校施設はない、学歴がなくなる、ランドセル、小学校～高校が一貫教育、必要な能力を買い脳にチップを埋める

⑤ 子どもや若者はいますか？

食料が確保でき子供は増える、子育て・結婚の問題が改善し増える、若者が多くなる、住む環境によって違う子供は居る、子どもは未知の世界に行く、水源が枯れ住めない、AI やロボットの子ども、地域の良さを再考し若者・子どもが居る若者が地域の未来を考える、子どもや若者がいなくなり課題に、若者は一人もいない

⑥ 災害がおきたときはどうする？

自給自足の生活で困らない、空の上に避難する災害あった場所を切り取り変える、家の中に逃げこむ、"災害はない・平地にない"、予知・予防ができ未然に防げる、科学で天候を変化させるため災害無し、断層の滑りをよくし地震がなくなる、災害余地が出来スムーズに避難できる、月に逃げる、災害は増えるが対応できる暮らしになる、浅間山が大噴火し人がいなくなる、温暖化で水面が上昇し高地が島になる、災害が起きそうな場所を修繕する、地球に人間がいらない、宇宙人の世界、地震・大雨予測でき避難可能、防災グッズを背負っている、地震のふり幅をコントロールする

⑦ お出かけするときの足(交通手段)は？

今の自動車はない、空中道路、ドローン、太陽光使った空中輸送手段

⑧ 地域のどんど焼きやお盆の行事、文化・スポーツの行事は？

行事・文化は絶やさず行方、残したいものを厳選・全体として行うスタイル、お盆・ふれあいは大切にされるから、地域行事は残る、文化・スポーツ行事は全国的な大会が簡単に開ける、e-スポーツ、伝統を大切にする心は残る、どんど焼き(残る)

人口減でどんど焼きや祭りはない、残してもらいたいのが伝承者が居ない、新しい未来行事ができ古いものはない

⑨ 介護保険はどうなっている？

医療が発達し介護保険がいらなくなる、ロボット化している、自己負担になる、任意になる、ロボットが行う、介護保険はなくなる

⑩ かかりつけ医は？病気になった時どうする？

医者がない、病気はなし、病気がなく医者はいない、新薬開発、AI に診察してもらおう、寿命が長い、医者は居る

⑪ 暮らしの中で、お互いに助け合っていることはどんなことですか？

すべては居酒屋コミュニティー、お茶飲みづきあい、二十三夜塔の時代になる、お互いさまの心で、血縁家族から地縁家族になる、血縁の関係超えた家族、宇宙人が助けてくれる

⑫ 東御市役所はどこにある？組織はどうなっている？

組織は残る、市町村合併し県に2自治体になる、統廃合の上に何かは残る、建物の形はなくなる、長野県が一つになり東御市は消滅、新しい課が東御市を管轄、AI や IT 技術の進歩で組織縮小、すべて PC 上で操作、市役所は消滅

⑬ 東御市社協はどこにある？どんな役割をしている？

社協はなくなる、皆が支え合い役割はなくなる、社協は施設に行き相談相手になる

⑭ お葬式とお墓はどうなっている？

墓は代々引き継がれる、葬式なくなる、墓はアパート化、形は変わって残る、墓石なく・樹木として残る、墓も葬式もない、映像になる、葬式はなく墓は残る

⑮ 自分が認知症になる

認知症は治って病気はない、認知症はない、生活に支障は出ないような認知症のみ、病気に代わらない、新薬が生み出され症状はない、原因が突き止められ予防法・薬できる、脳の研究進みなくなる、免許証、人口減で就労期間が長く認知症にならない

⑯ 近所の空き家は どうなっている？

空き家だらけ、空き家はなく整備される、施設や公園になる、集合住宅になる、新しく立て直される、ルールが決まり空いたら次の人が入居するシステム、最新型住宅は次々住み続けられる、みんなで暮らす場所、家に住まず車に住む

東御市祢津地区 2024 年 2 月 19 日実施 地域福祉懇談会ワークショップ意見

◎150 年前の人たちに残しておいてほしかったものは？

1. 自然環境と風景

祢津の山を水源の美味しい水（3）、美しい自然、湯の丸高原の自然、昔からの自然、自然豊か、自然、山川の風景、小川、カヤの木、風景

2. 文化と歴史

歌舞伎（2）、回り舞台（2）、城山（2）、海野宿（2）、百体観音とそのつながり、石像（道しるべ）、元始祭（春の例祭）、道祖神まつり、建事神社、富嶽山稜神社、お姫尊（2）

3. 社会とコミュニティ

自治会組織、社協、区長制度、ご近所付き合い、隣近所の集合場所、近所付き合い、1 人暮らしの集合住居、老人会

4. 公共施設とインフラ

しなの鉄道、中央公園、区ごとの小学校、温泉（2）、道の駅

5. 行事と祭り

火祭り、地域の行事

6. 食と農業

ワイナリー、ワインぶどう、ワイン畑、くるみりんご・ブドウ畑、野菜やコメを作る生活、田畑（2）

7. 社会保障と人口

年金（2）、東御市の人口

8. 生活と景観

景観、AI と距離を置く、働き手、生前葬

9. 個人的な希望

我が家の跡地

@150 年の前の人たちに作っておいてほしかったものは？

1. 社会インフラ

皆が寄れる広い施設・公園（2）、市の墓地、共同墓地、高度医療施設、福祉施設、新幹線の駅、電車の本数、空の交通、充実した公共交通網、外灯を増やす（2）

2. 教育と福祉

教育費を本人希望により無償化、大学進学無償化、福祉・医療費無償化

3. 環境と農業

環境破壊しない、自然破壊しない、エコ発電、自給率を高める、東御の地野菜、新しい特産物（栽培が楽）（2）、早く育つ技術（野菜）

4. 社会構造と政治

全員議員制度、次世代を継ぐ人の確保、男女平等な働き方・賃金、20 代のリーダー、世界平和

5. 交通と移動手段

車のない生活、移動手段の多様化

6. コミュニティと生活

子どもが増える、元気で若く居られる薬、子どもの遊ぶ場所、お祭り、ロボット、テーマパーク、ショッピングセンター、麻雀をやるところ

◎150年前の人達に、手放してほしかったものは？

1.社会インフラと施設

空き家（2）、湯の丸プール、学校、墓

2.環境

環境を汚すプラ製品、ごみ、遠方で不便な畑・山林、田んぼや畑の太陽光

3.政治と行政

政治家、自治会、市の借金、税金

4.生活

自家用車の生活

◎150年前の東御の人たちへのメッセージ

- ・困ったときは周りに頼ってください。
 - ・笑って、笑って、楽しいことはいっぱいあるよ
 - ・自然災害のないまちに
 - ・高齢者が元気で楽しく生活できる東御市
 - ・人を大事に、笑って暮らせる東御市であってほしい。
 - ・自然、歴史、文化を大切に楽しく暮らしてください
 - ・みんな仲良く暮らして
 - ・いつでも明るい東御市であって
 - ・健康寿命は大切だよ
 - ・昔ながらを大切に
 - ・いろいろ便利になっても体を動かして健康を大事に
 - ・明るく元気に困ったたら社協に相談すると良い
 - ・福祉について学び考えて
 - ・ご近所で仲良くしてね
 - ・自然豊かな東御市
 - ・田舎でいいから暮らしやすい
 - ・つながりを持ちながら少しゆっくり暮らしてみたら残すこともよいよ。
 - ・人口増えてもらいたい
 - ・子どもたちを大切に、みんな仲良くね
 - ・人との繋がり
 - ・実体験は大切（バーチャルではわからないことがある）
 - ・人に優しくするといずれは自分にも
 - ・森林伐採しすぎないで
 - ・褒め合い思いやるまちに
 - ・自分の好きなこと、やりたい事、楽しいことをやって
 - ・市民プールが室内になった
- ・幸せな市になって

東御市和地区 2024 年 2 月 21 日実施 地域福祉懇談会ワークショップ意見

◎150 年後の孫やひ孫の世代にも残したいものは？

1. 自然環境と資源

川・山など自然 (4)、自然環境・生態系を維持、豊かな自然、きれいな自然、緑豊かな自然、空気、水源・飲用できる水質残す、水資源の確保、きれいな水、水、果樹・野菜の用地に (2)

2. 教育と施設

和小学校 (3)、和小学校・保育園・児童館、和小学校の記念館、学校、教育 (日本人の精神)、公民館・和コミュニティセンター活用 (2)、各地区公民館、温泉、湯楽里館、

3. コミュニティと文化

集落のつながり (2)、近所づきあい、近所との繋がり、人同士のふれあい・コミュニケーション、人同士の繋がり (2)、人を思いやる気持ち (2)、人の心、人との助け合い、昔ながらの行事・祭り、地域の輪、区の行事 (どんどん焼き)、共存 (動物)、区の仕組み、役員の数

4. 食と農業

自給自足 (2)、生産可能な農地、食べ物・野菜作り、畑・田、ぶどう・くるみ・稲、美味しい食べ物・飲み物、ワインブドウだけにならないで欲しい

5. 伝統と歴史

伝統文化、昔ながらの行事・祭り、和神社、(盆踊り)、(しめ縄)、(もちつき)、歴史的建造物 (和小学校)、地域の特産物を残す、東御の良き伝統丸山晚霞等の美術品

6. 経済と商業

商店街・本屋、店、ワイン、交通、スキー場 (2)

7. 幸せと生活の質

幸せな暮らし、共通に大切と考えるもの、ほどよい田舎

8. その他

人の集まる場所

◎150 年後の孫やひ孫の世代のために、今から新たに組みたいものは？

1. インフラと都市開発

老朽化インフラの整備 (上下水道・道路・橋)、秩序ある宅地開発、道路の整備、荒廃地にしない管理 (2)、空き家活用、集合住宅の建設、カジノ

2. 自然環境と保全

木を植える、自然の保全、自然の木々や花や草を育てる力・守る力を持つ人、自然保全運動、人と自然の調和

3. コミュニティと人間関係

繋がりを作る場、近所付き合い、隣同士が仲良くなるための海善寺北区、お互いに子どもを見守る場所、集まる機会を作る、コミュニケーション、区の行事を続けていく、近所との付き合い (お茶のみ)、地域の人たちとのつながり、災害時に区・隣組のつながり強化、役員が進んで出来る体制・環境

4. 子育てと教育

子育て支援充実、子どもが育つ環境、子どもがいらっしゃる和、子どもを作る、子どもが地元に残る手段、子育て支援策の充実、子育て世代の教育、子育てしやすい環境・法律作り子ども世代からの仲間・サークルづくり

5. 高齢者と福祉

高齢化社会に向けたサポート体制充実、老後の生活が楽になる施設増、高齢者福祉の充実、介護施設の充実、

高齢者に優しい言葉をかける、ピンピンころり

6.経済と職業

若い世代が住みやすい家・働く場・子育て、職人・技術者の育成、若い人・子ども人口増、自給自足、大規模農地化、エネルギー資源の見直し、農業をつなぐ、人口減少対策としての農業と仕事の充実、温暖化による農作物品種開発

7.健康と福祉

健康で過ごすための話し合い、健康、全ての人が健康に過ごせる

8.文化と歴史

和小学校記念館の資料を残す、和小学校、歴史をデータ保存、歴史遺産の有効活用、お祭り

9.生活の質と社会保障

生活のための車・お金、買い物（食品）、ひとり一人が生活の見直し、費用負担の公平性、ベーシックインカム

10.その他

デジタル化、共働作業の恒常化、政治を良くする勉強会、交通手段（2）

◎150年後の孫やひ孫の世代のために、今手放したいもの、先送りにしたくないものは？

1.政治と行政

政治、政治家の質、議員の削減、難解な申告制度の改善、社会保障費の増大→歳出カット、地域の在り方、区の仕組み、区の役員の在り方、区・支区・班、区や地域の役員不要役員当番制、出不足金の見直し→出席の拡大→会議、インフラの総合整備、政治を良くする勉強会、不要土地の整理、空き家対策（自治体買い上げ、貸し出すなど）、トランプ的発想

2.経済と税制

税金、税金の在り方、保険料、固定観念、経費をたくさんかけない

3.教育と学習

学校教育、詐欺にかからない勉強会、健康で過ごせるための勉強会、災害に対する勉強災害に対する他人事の気持ち、欲を捨て好きなことをして楽しく暮らす、自分の出来ることをもっと努力する

4.社会福祉とコミュニティ

区の仕組み、シニアクラブ、移民を認める、社協活動のスリム化、社協を活用、医療費、地域福祉の在り方、人同士のつながり強化、皆が協力するよう学習

5.環境とインフラ

インフラの総合整備、原子力発電（2）、公共のモノを自由に使える

6.生活の質と意識

物に固執しない、生活の質をこのままこれ以上望まない、総花的目標は諦める、昔はこうだったという意識を変える

7.農業と土地

農業（害になるもの）、農地の集約→法人化、不要土地の整理、移民を認める、自給自足、"畑"

8.集会とコミュニティスペース

集会場・公民館の使い方

9.家族と居住

住宅・空き家、空き家対策（自治体買い上げ、貸し出すなど）、核家族が集合して暮らす

東御市北御牧地区 2024 年 2 月 26 日実施 地域福祉懇談会 ワークショップ意見

◎50 年後の孫やひ孫の世代にも残したいものは？

1. 自然環境

- 生態系と景観： 豊かな自然、自然、ため池、自然や景観、自然・環境
- 地域の食材と農業： ふきのとう・蕨・もろこし・芋・おやき、おいしい水・空気・米・野菜、自然・水の色・空の色・花の色、安全な食生活
- 持続可能な農業： 農業で汚染のない農作物づくり、農業、畑・田んぼ・景観、田んぼ、自然と調和した景観

2. 地域文化と伝統

- 伝統行事と風習： 羽毛山地区の祝祭日の国旗、昔から地域に伝わるお雛様や昔話、地域の風習、お地蔵様、道祖神・獅子舞、獅子舞、夏祭り、地区のお祭り、お祭り
- 歴史と遺産： 北御牧の今までの歴史、史跡、文化、登り窯、鳥居桜（南部区）、野魔除け（史跡）
- 教育と学習施設： 教育機関（小・中・高・大学）、学校

3. 地域コミュニティ

- 社会的結びつき： 支え合いの関係、家族との繋がり、人との繋がり・対話、人の声を聴く心、コミュニケーション、近所付き合い
- コミュニティ施設： 公民館・集会所、隣組、アクティブセンター、子どもたちがふれあう場所
- 教育施設と商業： 保育園・小学校・中学校、地域の商店

4. 健康と福祉

- 医療と福祉サービス： 温泉診療所・温泉、温泉、病院、ケアポート

5. 地域インフラ

- 交通とアクセス： 交通網（田中駅まで行く手段）、田中駅にタクシー、しなの鉄道
- 農業インフラ： 用水・米作り

6. 心と精神

- 共感と倫理： 優しさ（2 回記載）、心、思いやりの心、人を迎え入れる気持ち、先祖を大切にすること

7. 地域イベント

- お祭りとイベント： 花火大会、十九夜様

8. その他特記事項

- 記録と持続可能性： 映像などの記録、住みやすい環境、災害に強いところ、田舎の良さを残す（景観・山・田んぼ）、味の研究会（子に安全な食べ物提供）、墓・代々継ぐ残したい、美味しい野菜、八重原米（おいしい米）、無尽、寺、今以上の人口

◎50 年後の孫やひ孫の世代の暮らしのために、今から新たに取り組みたいことは？

1. 環境と自然保護

- 自然保全： 河川を汚さない、ほたる、オオルリシジミ、自然エネルギー、自然
- 資源管理： ごみを減らす、ごみを再生してごみを減らす、新機器の再生能力、強い風を利用したエネルギー

2. 地域インフラと交通

- 交通整備： 安心して歩ける道路、サイクリングロード、御牧原から八重原に直接行ける橋、交通の便を良くする

- エネルギーインフラ: 自然エネルギー、強い風を利用したエネルギー、空飛ぶ自動車開発

3. 社会・コミュニティ活動

- 地域活動: 地域で楽しめる運動・交流会、地域の伝統・交流・ふれあい、近所との関わり復活、コミュニケーションをとる、隣組
- コミュニティ支援: 移住者の人を大切にする、移住者増→働く場所作る、地産地消の循環システム作り(もの・人)、循環システムによる人口増

4. 教育と文化

- 教育革新: 子どもの教育、食育(健康のため味覚を育てる)、子どもが楽しく生活が出来る環境、小学校ではない個人を伸ばす教育、政治を学ぶ機会
- 文化継承: 伝統を受け継ぐ、食の文化を引き継ぐ、日本食は体にいいので海外に普及する

5. 地域経済と雇用

- 経済活性化: テーマパークを作る、ご飯屋さん、働く場を作る、若い人が就きやすい仕事、農業のロボット化
- 農業革新: 農業・米作り、米作りに力を入れる、農業の良さを伝える、農業を楽しくやれる方法、農業形成者の若手を作る

6. 社会問題と政策

- 社会改革: 今の政治を変える、子どもの数の維持、若い女性を呼び寄せる良さを作る、家事等をできる男性に育てる、リーダーの育成
- 地域管理: 自治体任せでない道路維持仕組み、用水の維持管理、水田の借り手、空き家対策、地域住民の意識改革、地元民と他の地域が協力

◎50年後の孫やひ孫の世代のために、今手放したいもの、先送りにしたくないものは？

1. 環境問題

- 環境保護活動: 地球温暖化防止、環境破壊、自然破壊
- エネルギー政策: 原子力発電所、放射能を含んだ木のバイオマス発電

2. 社会構造と政策

- 行政改革: 区役員を減らす、区の再編、国家の借金
- 社会的役割と概念: 消防団(地区ごと)、回覧板、まわり番の役職、年賀状、冠婚葬祭、お墓の概念をなくす

3. 地域コミュニティとコミュニケーション

- 近隣関係: 近所のコミュニケーション、回覧板を見ないことへの対処
- コミュニティ変化: 子どもが少なく集まらないこと、残っている場所をまねる

4. 文化と生活様式の変化

- テクノロジーと文化: ネット・スマホ、ネット社会を昔に戻す
- 災害意識と対策: 災害が来ないという気持ち、浅間山噴火しても大丈夫

5. 土地と自然資源の管理

- 農地と自然: 古い住宅、農地、物置(放置されている)、墓地、竹藪・農地・田畑・山林、ため池の管理

6. 社会問題

- 人口と社会的課題: 少子化対策、差別意識

東御市田中地区 2024 年 2 月 27 日実施 地域福祉懇談会ワークショップ意見

◎50 年後の孫やひ孫の世代にも残したいものは？

1. 自然と風景

自然 (3)、豊かな自然・里山 (3)、美しい自然・空気、今の風景・景観、山の樹木、山並み、千曲川 (2)、千曲川の川底の岩場、田んぼなどの風景、田んぼ・畑、池之平湿原、現風景

2. 地域社会と文化

地区行事 (初午・どんど焼き・子ども相撲)、祭りや文化、地域の祭りや文化、昔ながらの天神講、ふれあい祭り継続、海野宿の家並み (3)、海野宿、雷電像公共的・歴史的な財産、加沢地区の歴史、不動公園の相撲大会復活

3. 人間関係とコミュニティ

人同士のつながり、全世代仲良く、世代交流会、子どもの集う場所、友達付き合い、老人会 (白鳥会) を残したい、子どもの居場所、あいさつがしあえる人間作り、とうみの縁

4. 心と精神

思いやりの心、誰にでも優しい心、人の心、日本人の心、安心安全の世の中、戦争に反対し平和を求める考え方、ナチュラルな身体

5. 教育と医療

学校 (2)、保育園・学校、充実した医療

6. 食と農業

米農家、美味しい作物、野菜・りんご・ぶどう、シャインマスカット、農作業 (米作とかかる行事)、美味しい水

7. インフラと施設

しなの鉄道 (2)、湯の丸スポーツ施設、温泉 (2)、中央公園、原・泉谷公園 (2)、遊べる場所・公園

8. その他

生活・災害環境、月 1 のいきいきサロンは海野の宝、交通 (人同士のつながり)、市

◎50 年後の孫やひ孫の世代のために、今から新たに取り組みたいものは？

1. インフラと都市計画

宿場町の保存 (3)、道路整備 (歩道)、住宅地を集中し商業・公的施設の再配置、しなの鉄道海野宿駅新設、道路整備、空き家問題、公園、公民館の平屋拡大、総合病院、レジャー施設・ショッピングモール、大学誘致 (2)、各家庭の電力パネル、技術・スキルを活かせる場所、雇用の場の創出、修繕補助拡大、大きなグラウンド、子どもが喜ぶ公園

2. 環境と自然保護

CO2 削減、耕作地の整備、農地・工場の用地や設備の効率的活用、耕作放棄地の解消、自然を守る、川汚染をしない

3. 子育てと教育

若い人が出産・子育てしやすい環境づくり、子どもが住みやすい生活、子育て支援、子どもを仕事に見ても
らえる場所、子どもが喜ぶ公園、地産地消の学校給食、誰もが教えられる学校、若者の考える場所、子ども
の遊べる場、ゲーム

4. コミュニティと文化

多世代間の交流、祭りで区民が一体、世代間交流（2）、音楽文化の継承、クラブ、家族友達を大切に思う気
持ち、会話、共同生活・交流の場、東御市全体のイベント力強化、政治参加、災害に強い地域づくり

5. 経済と産業

農業希望者を募集、新たな作物・ブドウ畑、起業・自立支援、新リーダーの育成、就労先として企業誘致、
東御市の強みを生かす、人材づくり、東御に立ち寄るまちづくり、酒

6. 交通と移動

多様な交通方法、電車本数を増やす、交通安全

7. 家族と人口

家族世帯が移住するまち、結婚して家庭を持ってもらう、子どもを増やす、若い人にやさしいまちづくり、
人口の増えるまちづくり

8. 生活の質

物を増やさない、迷惑をかけない、若者の考える場所

◎50年後の孫やひ孫の世代のために、今手放したいもの、先送りにしたくないものは？

1. 社会制度と政策

今の学校教育体制を変える、子育てに優しい市にする政策、男性優位社会概念、でたらめな政策、他人任せ
の考え方、市役所の手続き

2. 不動産と住宅

不動産（土地・山の個人所有廃止）、空き家の整理、空き家対策、家屋の行方、家の片付け、海野宿の空き家
を商業に活用

3. 環境とごみ問題

過剰なプラごみ、ごみ、化石・石油の製品、不用品の片付け

4. 農業と土地利用

農地（3）、耕作放棄地の整理

5. 公共施設とインフラ

公園・不動公園、公園の管理、箱もの、ゴルフクラブ、墓地、墓じまい

6. 社会意識と文化

家族の意識、昔からの行事と忘れてはいけないことを伝える、言葉の変化、集まる場所、税金、AI フェイク
ニュース